

第29回「議員と語りかい」報告書

文教厚生常任委員会 (No.1)

開催日	平成31年 1月30日(水) 15時00分 ~ 17時00分		
開催場所	議会棟4階 第3・4委員会室		
団体名	霧島市社会保障推進協議会	参加人員	12人 (男10人:女2人)
出席議員	平原 志保 宮田 竜二 山口 仁美 鈴木てるみ 徳田 修和 仮屋 国治 池田 守 前川原正人		
役割分担	班 長 (平原 志保) 副班長 (宮田 竜二) 記録係 (徳田 修和)		
テーマ及び具 体的な内容	霧島市の社会保障政策について ・市民の国民健康保険税負担や子ども医療費負担等、霧島市の社会保障の現状 認識と今後のあり方について		

	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
◆前回の議会で後期高齢者の医療費負担に対する陳情書を出したが、委員会審査は賛成多数、本会議は賛成少数で不採択となった。各議員がどのような考えで採決に臨んだか教えてほしい。	
◇各議員が賛否の立場を明らかにして、考えを述べた。	
◆近年、市民の収入は増えてきていない。逆に生活は困窮してきているということを共通認識として持てなければ議論にならないと思う。日頃どのように感じているのか聞かせてほしい。	
◇自分の家族の取り巻く環境からみても、厳しい現状があると認識している。社会保障の問題は自己責任ではなく、最後は国が責任を持たなくてはならない。そして、国政任せではなく、一人一人が国民として声を上げていくことが重要である。	
◆前回不採択となった陳情と同じ内容の意見書が全国知事会でも出ている。国政で決めるべきものを、霧島市議会で不採択の判断するのはおかしい。国に任せればいいのか。地方の声を国政に届けるのが、地方議会の在り方なのではないか。	

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆後期高齢者医療費の窓口負担に関する意見は、総務省から出ていて、厚労省は見解を出していないので見守るとの意見もあったが、厚労省が方針決定する前に、意見書を提出することが必要であり、決まってからでは意味がないのではないかと。

◇生活の厳しさも十分認識しているが、社会保障を取り巻く環境をみると、医療費が低いことに越したことはないが、そう言っていられない現状があると考えている。

◆運動をしながら健康を保っているが、一番は早期受診である。負担が増えると受診を渋る方もいるのではないかと。

◇運動はするようにしている。市民一人一人が健康を意識して生活すれば、特定健診の受診率も上がり、早期受診につながり医療費は抑えられると思う。

意見交換での主な意見等

◆去年も同じ趣旨の陳情が出て採択されているが、当時、賛成で、今回反対に回った方の意見が聞きたい。

◇前回の採決の後、この問題の経過がある。その中で制度自体の問題なども委員会で議論になったが、国の負担＝国民の負担ということを考えて慎重な判断をするべきだと考えた。

◆地方自治の観点からも、市議会議員には市民の方を向いた活動をしてもらいたい。

◇その思いで活動している。子どもの医療費の窓口無償化の提案もしてきている。ただ、市単独では難しい問題であるとの回答であった。社会保障の問題は、霧島市だけで考えられることではないが、地元の社会保障の在り方を考えていきたい。

◆国に上げる意見は自由であると思う。反対者の意見を聞いていると国会議員の立場で話されているように感じる。自分の立場で考えてほしい。

◇市民の負担は少ない方がいいとは考えている。経済の変化をみても負担の在り方は、仕方のないこともある。市としては、未就学児の医療費無償化や補聴器の補助など先立って取り組んできた。人間ドックの助成など、早期治療につながることも行ってきている。今回の判断は、この件は時期尚早であるというのが率直な意見である。常に市民目線で取り組んでいる。

◇地方自治とは何だろうということは、我々議員もあらためて考えなければいけないと思う。物事は批判的に考えていかないと発展はないと考えている。賛否それぞれの意見があって当たり前だが、その重みは十分に認識している。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇地方自治と考えたとき、市レベルで考えられることは、健康増進、特定健診などやその後のケアなどが重要であると思う。

医療費が上がっていくことは仕方がないことではあるが、医療を受ける側が、どれだけ自分の健康を守る環境を整えていけるかが地方自治の役割であると考えている。現行の制度の中でも、しっかりと議論を深めて取り組んでいきたい。

◆霧島市の生活環境はいいのに暮らしにくいと感じることも多い。市民の暮らしがよくなるように政治でしか変えられない部分もあると思うので、議論を深めて行ってほしい。

◆子どもの受診に対して、コンビニ受診といえば聞こえが悪いが、親では判断しにくいことは多い。安心して受診させられる環境を整えてほしい。

◆他県他市にはいい制度を取り組んでいるところは多い。ぜひそういった事例を学んでみてほしい。

意見交換での主な意見等